



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社レオクラン

上場取引所 東

コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山村 誠人

TEL 06-6387-1554

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	7,971	28.4	405		404		265	
2020年9月期第1四半期	6,208		23		22		6	

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 290百万円 (828.9%) 2020年9月期第1四半期 31百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	135.98	135.73
2020年9月期第1四半期	3.27	3.26

(注) 1. 2021年9月期第1四半期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「 」と記載しております。

2. 当社は、2019年9月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	15,236	5,016	32.2
2020年9月期	13,414	4,817	35.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 4,903百万円 2020年9月期 4,707百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		45.00	45.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,593	11.8	352	72.6	363	75.5	238	97.0	121.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	1,954,400 株	2020年9月期	1,954,400 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	79 株	2020年9月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	1,954,321 株	2020年9月期1Q	1,904,250 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化懸念に加え、欧米諸国を中心とした新型コロナウイルス感染症の再拡大により、各国で都市封鎖や渡航制限等が実施され、世界経済は極めて厳しい状況となりました。また、わが国経済においても、企業収益や個人消費に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、再び、新型コロナウイルス感染者数が大幅な増加傾向にあり、景気の先行きは、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましても、昨春に大幅に減少した手術数や外来・入院患者数は、回復傾向にあるものの、病院経営は依然厳しい状況が続いております。また、感染再拡大により医療崩壊状態に陥る危険性が高まる中、多くの病院が新型コロナウイルス感染対応への早期拡充を余儀なくされているほか、病床の確保と症状の程度に応じた医療機関間の役割分担等、各都道府県における医療提供体制の再構築が急務となっております。一方で、新型コロナウイルスの収束時期に左右されるものの、今後においては、「地域医療構想」の実現に向けた丁寧な議論の積み重ねにより各医療機関において統合・再編を含めた病床転換が多く実施され、建築を伴う大型の設備投資の増加が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、従前と同様に、営業エリアを限定せず、全国での受注実績により入手した病院づくりに係る最新の情報を活かし、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売の受注のみならず、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入及びリプレース案件の受注活動を日本全国で展開しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、主に10億円規模の案件を含む医療機器の一括販売が好調に推移したことにより増収となり、利益面では前年同期を大幅に上回る結果となりました。

以上のことから、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,971,544千円(前年同期比28.4%増)、営業利益は405,213千円(前年同期は23,680千円の営業利益)、経常利益は404,407千円(前年同期は22,465千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は265,753千円(前年同期は6,228千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が当期の業績に与える影響は軽微であると判断しており、足元の受注環境に大きな変化はなく、各案件の進捗は、概ね想定どおりに推移いたしております。いまだ医療機器の一括販売案件等の大型案件が端境期にあるものの、リプレース案件及びスポット的な新規案件の受注が順調に推移しており、また、進行中の案件における深耕営業の強化により当初の想定を上回る粗利率を確保する等、収益確保に向けた取り組みは一定の成果を上げております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,691,814千円(前年同期比29.4%増)、営業利益は370,704千円(前年同期は2,704千円の営業損失)となりました。

#### ② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、従前と同様に独自性を活かしつつ、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図ることができ、売上高は概ね想定どおりに推移し、利益面では、主に増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に対し5,983千円増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は162,673千円(前年同期比6.2%増)、営業利益は23,730千円(同33.7%増)となりました。

#### ③ 給食事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、既存受託施設への販売増加により、売上高は概ね想定どおりに推移し、緩やかな成長基調を維持しております。利益面では、増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に対し2,101千円増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、117,056千円(前年同期比6.1%増)、営業利益は9,992千円(同26.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,811,289千円増加し、14,009,622千円となりました。これは、現金及び預金が886,976千円、受取手形及び売掛金が695,621千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10,648千円増加し、1,226,620千円となりました。これは、有形固定資産が11,304千円減少したものの、投資その他の資産その他が28,150千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,821,938千円増加し、15,236,242千円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,628,196千円増加し、9,336,202千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が166,898千円、賞与引当金が41,982千円減少したものの、買掛金が1,662,424千円、未払法人税等が116,798千円、その他が58,253千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,023千円減少し、883,705千円となりました。これは、退職給付に係る負債が6,427千円、役員退職慰労引当金が6,362千円増加したものの、社債が17,100千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,623,173千円増加し、10,219,907千円となりました。

## ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて198,765千円増加し、5,016,334千円となりました。これは、主に利益剰余金が177,808千円増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,450,782	5,337,759
受取手形及び売掛金	6,652,898	7,348,519
商品及び製品	58,943	264,993
原材料及び貯蔵品	1,645	2,019
その他	1,034,469	1,056,751
貸倒引当金	△407	△421
流動資産合計	12,198,332	14,009,622
固定資産		
有形固定資産	443,501	432,196
無形固定資産	89,996	83,800
投資その他の資産		
その他	682,479	710,629
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	682,473	710,623
固定資産合計	1,215,971	1,226,620
資産合計	13,414,303	15,236,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,282,713	7,945,137
1年内償還予定の社債	44,100	47,900
1年内返済予定の長期借入金	166,898	—
未払法人税等	16,811	133,609
賞与引当金	85,333	43,351
役員賞与引当金	9,700	5,500
その他	1,102,450	1,160,704
流動負債合計	7,708,006	9,336,202
固定負債		
社債	127,100	110,000
退職給付に係る負債	323,039	329,467
役員退職慰労引当金	360,630	366,993
その他	77,958	77,244
固定負債合計	888,728	883,705
負債合計	8,596,734	10,219,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,169	536,169
資本剰余金	495,744	495,744
利益剰余金	3,580,917	3,758,726
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,612,665	4,790,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,859	112,707
その他の包括利益累計額合計	94,859	112,707
非支配株主持分	110,044	113,153
純資産合計	4,817,569	5,016,334
負債純資産合計	13,414,303	15,236,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,208,336	7,971,544
売上原価	5,656,428	7,034,985
売上総利益	551,907	936,559
販売費及び一般管理費	528,227	531,345
営業利益	23,680	405,213
営業外収益		
受取利息	181	188
助成金収入	—	140
その他	157	227
営業外収益合計	339	556
営業外費用		
支払利息	627	502
支払保証料	299	235
シンジケートローン手数料	500	499
その他	126	126
営業外費用合計	1,553	1,363
経常利益	22,465	404,407
税金等調整前四半期純利益	22,465	404,407
法人税、住民税及び事業税	4,904	127,545
法人税等調整額	6,519	4,399
法人税等合計	11,424	131,945
四半期純利益	11,041	272,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,813	6,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,228	265,753



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,041	272,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,213	17,848
その他の包括利益合計	20,213	17,848
四半期包括利益	31,254	290,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,441	283,601
非支配株主に係る四半期包括利益	4,813	6,708

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,944,892	153,143	110,299	6,208,336	—	6,208,336
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,944,892	153,143	110,299	6,208,336	-	6,208,336
セグメント利益又は損失 (△)	△2,704	17,746	7,890	22,932	747	23,680

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 747千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,691,814	162,673	117,056	7,971,544	—	7,971,544
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,691,814	162,673	117,056	7,971,544	—	7,971,544
セグメント利益	370,704	23,730	9,992	404,427	785	405,213

(注)1. セグメント利益の調整額 785千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。